



# 万松寺はぐくび通信

Year 2019  
Season 冬号  
No. 35



# ゆく年くる年

ご挨拶

平成が終わり、令和という時代が幕を開けました。「令和」という元号は、中国古典からの出展という長い歴史の中で、初めて日本古典「萬葉集」からの出展といふ変化が訪れた元号といえます。歴史の中での変化といえば、お寺もその昔は、生きている人を救うとともに故人を弔う場所でした。それがいつしか故人を弔う場所へと変化をしたようになります。どちらも大切な場所であるのに、一方だけが取沙汰されたのは残念に思います。

そこで万松寺では、生きている人には心身ともに健康になるための行事やイベントを催し、故人には、心安らかに眠るための追善供養を當むなど、本来のお寺の姿を取り戻す取り組みをしています。

長い歴史の伝統は守りつつも、時代に合わせて変化し、多くの皆さんに寄り添うことができるお寺を目指し、新時代も日々精進してまいります。



## 令和2年の干支暦「庚子」

令和2年の干支暦は「庚子（かのえね）」にあたります。庚は十干、子は十二支のひとつで、干支とは十干と十二支を組み合わせたものを指します。

五行説では、庚は「金」子は「水」の性質を持ち、「金属は冷えると表面に水を生じる」ことから「金生水」といい、相性の良い相生関係にあります。つまり、暦上の相性は良いといえます。しかし、曆が作られた時代と比べて自然環境は大きく変化しています。先ほど「金生水」といいましたが、地球の温暖化が深刻化している現在、金属が冷えて水ができるどころか金属の熱で水は蒸発しかねません。そういうことから、令和2年は水が蒸発して干ばつとなる、もしくは蒸発した水が冷やされて大雨となるといった水に関わる災害に見舞われる年になると私は読んでいますが、令和元年のような大打撃とはならないでしょう。

陰陽論からみると、令和元年の「己亥（つちのとのい）」は、ともに陰の気質を持ち、統制・整然を表し、準備を行なう年でした。今度の「庚子」は、ともに陽の気質を

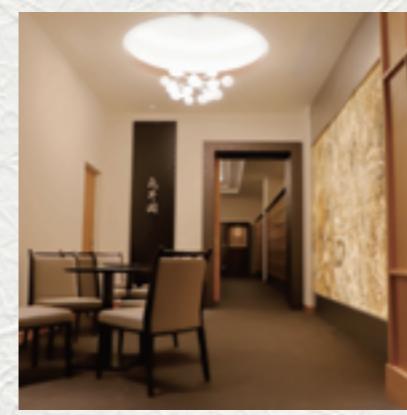
萬松寺 四十二世住職  
大藤 元裕

持ち、変化・兆しを表し、飛躍の始まりとされます。つまり、今まで足踏みしてできなかつたことには挑戦できる術が見つかることで、蓄えてきた知識や経験を精査し、実りある未来につなげるための計画を立てるのにふさわしい年といえます。温故知新・故きを温ねて新しきを知るという気持ちでいろいろな物事をとらえると、今まで足踏みしてできなかつたことの力によって、皆様が実りある豊かな一年を過ごされますよう心より祈念申し上げます。

庚子という相性の良い陽性の氣の力によって、皆様が実りある豊かな一年を過ごされますよう心より祈念申し上げます。



**秋彼岸合同法要**  
令和元年9月20日(金)21日(土)  
万松寺納骨堂に安置させていただいてる故人の靈位を懇ろに供養させていただきました。



**首座法戰式**  
令和元年10月14日(月祝)  
首座という修行僧のリーダーが導師に代わり「悟りとはなにか」といった禅問答を他の修行僧と行う儀式を行いました。



**秋葉大祭**  
令和元年12月16日(月)  
本火防の力を持つ秋葉三尺坊大権現のご真前にて「火盜潜消（かとうせんしょう）」「商売繁盛（しょうめいしやく）」などの祈禱を行いました。



亡くなられた方の「現在のお顔」を想像し、ご遺族と一緒に描く「絵画」作家大村順氏の初個展が開催されました。

故人と家族が肩を並べた絵画とご家族のエピソードが書かれたボートや大村氏の絵画への想いに、多くの方が感涙されていました。

**氣昇閣オープン**  
令和元年10月11日(金)  
万松寺本堂3階に、納骨堂「氣昇閣」がオープンしました。  
氣昇閣は【天地をつなぎ】「氣」を連綿とつむぐ場所】をコンセプトに空間デザインした、世代を超えてご供養いただけるモダン仏壇の納骨堂です。



**スジャータまつり**  
令和元年12月8日(日)  
お釈迦様が悟りをひらかれた日を祝うとともに、お釈迦様を救ったスジャータの功績を称えるお祭りで、毎年12月に開催しています。恒例のスジャータ姫道中では、地元アイドルOS☆U、BSJの皆さんや大須学区のこども達がスジャータ姫に扮し大須商店街をパレードしました。

**元氣スマイルDAY**  
令和元年10月14日(月祝)  
充実したシニアライフを過ごす知恵をお話するセミナーや相談会、万松寺僧侶による写経や数珠作り教室、不老閣による健康チエツクなどが開催されました。

**万松寺日記**

**防災訓練**  
令和元年11月21日(木)  
本堂と白龍館の電気設備法定点検による全館停電を災害に見立て、停電状況の体験、発電機の使用訓練を行いました。

**防災訓練**  
令和元年11月21日(木)  
本堂と白龍館の電気設備法定点検による全館停電を災害に見立て、停電状況の体験、発電機の使

**万松寺の永代供養納骨堂**

お墓・供養のあらゆるお悩みにお応えします

1 万松寺納骨堂が選ばれ続ける3つの理由  
2 由緒ある寺院による安心の永代供養  
3 納骨後も安心な負担の少ない法要費用

0120-157-942 または万松寺総合受付まで

1月  
2日(水) 初詣大般若会 不動堂・稻荷堂

靈験あらたかな身代不動、白雪稻荷のご真前にて、大晦のない平穏な一年を祈禱する大般若会を行います。  
墓地や納骨堂に眠るご先祖様や大切な方に、新年のご挨拶を兼ね追善供養を営みます。

3日(木) 正月合同法要 白龍ホール 稲荷堂

門前の甘酒屋が代々栄えたことにあやかり、白雪稻荷のご真前にて、仕事始めの開運祈禱を行います。

6日(金) 初稻荷大祭 稲荷堂

正月飾り、古い御札や御守などを、読経と淨火により供養するお焚き上げを営みます。

11日(土) 升龍焚き上げ 境内

立春の節分に、開運招福の祈禱と豆まきを行います。

3日(月) 節分会 本堂

当年星と本命星を祀り、除災招福の祈禱を行います。

15日(土) 涅槃会 本堂

お釈迦様が沙羅の木の下で入滅（亡くなること）された日に、遺徳を慕い報恩感謝の法要を営みます。

3日(月) 星祭 本堂

お先祖様や大切な方が浄土から現世に帰つてくる新盆の時期に、追善供養を営みます。

12日(日) お盆合同法要 白龍ホール

ご先祖様や大切な方が浄土から現世に帰つてくる新盆の時期に、追善供養を営みます。

8月  
12日(水) 迎え火 白龍ホール・本堂前

夕刻に松明を焚き、ご先祖様や大切な方の精霊を現世へお迎えします。

15日(土) 送り火 白龍ホール・本堂前

ご先祖様と全ての精霊に、水の子を供え、甘露門を読經する施食法要を営みます。

24日(月) 施食会 本堂

願いを込めて奉納された短冊や護摩木に、諸願成就の祈禱を行います。

25日(火) 旧暦七夕 本堂

ご先祖様と全ての精霊に、水の子を供え、甘露門を読經する施食法要を営みます。

31日(木) 除夜法会 白龍ホール

元気になった春の気で一年をよりよく過ごしていただ

くように除夜の鐘をつきます。



### 厄除け豆まき祈祷

場所：本堂（十一面觀世音菩薩真前）

読経読呂仏陀回向の功德と諸仏菩薩のご加護による、七難即滅・七福即生の祈祷をさせていただきます。あわせて厄難を払うとされる「豆まき」をしていただきます。

時間 12時～17時 受付 11時30分～16時30分

祈祷料 三千円（枠をお持ち帰りの場合、別途千五百円）

### 星祭

場所：不動堂（身代不動明王真前）

本命星と当年星がより吉勢となるよう、除災招福の祈祷をさせていただきます。

時間 12時～17時 受付 11時30分～16時30分

祈祷料 三千円

● 身代わり餅つき 18時～

身代不動明王縁日  
祈祷・供養  
随时受付

行事・祈祷・供養のお問合せ・お申込みは  
祈祷受付（または 052-1262-1073）  
(年中無休 9時～20時)にて承ります

令和2年  
万松寺  
節分会  
厄除け豆まき祈祷・星祭

2月3日(月)12時～17時

3月  
3日(火) 信秀忌 稲荷堂 本堂  
万松寺を建立した織田信秀公（織田信長公の父）の命日供養を営みます。

4月  
8日(日) 災害物故者追悼法要 本堂・境内  
稻荷の日である旧暦初午の日に、白雪稻荷のご真前にて、五穀豊穣・商売繁盛の祈祷を行います。

8日(日) 春彼岸合同法要 白龍ホール 稲荷堂

震災などの災害で亡くなつた世界中の方を悼み、復興・再生への祈りを込めて、追悼法要を営みます。

23日(月) 22日(日) 花まつり 境内

彼岸（浄土）と此岸（現世）が近くなるとされる彼岸の時期に、追善供養を営みます。

5日(日) 降誕会 境内

お釈迦様が花園でお生まれになつた日に、誕生を祝しを灌ぐ花まつりを行います。

28日(木) 春期不動明王大祭 不動堂 本堂

28日の不動縁日の中でも縁の強い春と秋に、大祭として大般若会を行います。

8日(水) 秋彼岸合同法要 白龍ホール

彼岸（浄土）と此岸（現世）が近くなるとされる彼岸の時期に、追善供養を営みます。

6日(火) 成道会 不動堂 本堂

成道会を祝うとともに、苦行で倒れたお釈迦様を救つたスジャーラの功績を称えます。

12月  
6日(火) スジヤータまつり 不動堂前・境内

28日の不動縁日の中でも縁の強い春と秋に、大祭として大般若会を行います。

8日(火) 成道会 本堂

お釈迦様が悟りをひらかれた日に、偉業を称え報恩感謝の法要を営みます。

■スジヤータまつり宵山 5日(土) 境内

お釈迦様が悟りをひらかれた日に、偉業を称え報恩感謝の法要を営みます。

### 初詣大般若会

正月元日(水) 2日(木)

10時～16時

受付時間：9時半～15時半

場所：不動堂・稻荷堂

受付：本堂1階

大般若 一万円

大般若札・破魔矢(大)・身代わり餅・暦

祈 祷 五千円

御札・破魔矢・身代わり餅・暦

祈 願 二千円

御札・干支絵馬・暦

### 初稻荷大祭

1月6日(月)

11時～14時

受付時間：11時～13時半

場所：稻荷堂

受付：総合受付

大般若 一万円

大般若札・破魔矢(大)・身代わり餅・暦

祈 祼 五千円

御札・破魔矢・身代わり餅・暦

祈 願 一千円

御札・干支絵馬・暦

大般若・祈禱を

お申込みの方のうち、

ご希望の方へ

「初稻荷大祭限定御朱印」

をお受けします。

大般若 一万円

大般若札・破魔矢(大)・身代わり餅・暦

祈 祼 五千円

御札・破魔矢・身代わり餅・暦

祈 願 一千円

御札・干支絵馬・暦

ご祈祷後、粗飯を召し上がっていただきます

当日のご来寺が難しい場合はご不参としてご祈祷を行い、御札・御供物などは送らせていただきます。お申込み時にその旨をお伝えください。